

免許状・資格等の取得

I. 幼稚園教諭2種免許状の取得

本学で教育職員免許の幼稚園教諭2種免許状の取得をする場合、短期大学士の学位を取得し、以下の指定する基礎教育科目並びに専門教育科目を履修しなければなりません。

1. 基礎資格

短期大学士の学位を有すること。

2. 基礎教育科目での履修

(2013年度・2014年度入学者)

免許法施行規則に定める科目及び単位数		本学の授業科目と単位		必要な単位数
科目	単位	科目	単位	単位
日本国憲法	2	日本国憲法	2	2
体育	2	スポーツ	1	2
		スポーツ・健康論	2	
外国語コミュニケーション	2	英語	1	2
		保育の英語	1	
		フランス語Ⅰ	1	
		フランス語Ⅱ	1	
		スペイン語Ⅰ	1	
		スペイン語Ⅱ	1	
		中国語Ⅰ	1	
		中国語Ⅱ	1	
情報機器の操作	2	パソコン演習Ⅰ	2	2
		パソコン演習Ⅱ	1	

3. 専門教育科目での履修

①教科に関する科目（1科目以上にわたり、4単位以上）

(2013年度入学者)

免許法施行規則に定める科目	本学の授業科目と単位		必要な単位数
科目	科目	単位	単位
国語	国語	2	4
算数	算数	2	
音楽	音楽Ⅰ（ピアノ・楽典）	2	
	音楽Ⅱ（弾き歌い）	2	
	音楽Ⅲ（弾き歌い・声楽）	2	
図画工作	図画工作	2	
体育	体育	2	

(2014年度入学者)

免許法施行規則に定める科目	本学の授業科目と単位		必要な単位数
科目	科目	単位	単位
国語	国語	2	4
算数	算数	2	
音楽	音楽Ⅰ（ピアノ・楽典）	2	
	音楽Ⅱ（弾き歌い）	2	
	音楽Ⅲ（弾き歌い・声楽）	2	
図画工作	図画工作	2	
体育	体育	2	
上記科目に含まれる内容を合わせた内容に係る科目その他上記科目に準ずる内容の科目	児童文化	2	

②教職に関する科目（２０１３年度・２０１４年度入学者）

免許法施行規則に定める科目区分等		本学の授業科目と単位		必要な 単位数
科 目		科 目	単位	単位
教職の意義等に関する科目	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。） ・進路選択に資する各種の機会の提供等	保育者論	2	2
教育の基礎理論に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理	2	2
	・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）	教育心理学	2	4
	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	教育関係法規	2	
教育課程及び指導法に関する科目	・教育課程の意義及び編成の方法	保育内容総論	2	2
	・保育内容の指導法	保育内容指導法「生活と健康」	2	12
		保育内容指導法「生活と人間関係」	2	
		保育内容指導法「生活と環境」	2	
		保育内容指導法「生活と言葉」	2	
		保育内容指導法「生活と表現」	4	
	・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用含む。）	幼児教育指導法	2	2
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	・幼児理解の理論及び方法 ・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	保育カウンセリング	2	2
教 育 実 習		教育実習（事前・事後指導）	1	5
		教育実習Ⅰ	1	
		教育実習Ⅱ	3	
教 職 実 践 演 習		保育・教職実践演習（幼稚園）	2	2

なお、教員免許状取得要件を充たすことなく卒業した者については、科目等履修生制度で不足単位を履修することができます。

Ⅱ．保育士資格の取得

本学で保育士資格の取得をする場合、児童福祉法施行規則(保育士養成施設指定基準)に定める要件を満たすよう、以下の指定する基礎教育科目並びに専門教育科目を履修しなければなりません。

1．基礎教育科目の履修

(2013年度・2014年度入学者)

保育士養成所指定基準			本学の授業科目と単位数		必要な単位数
科目区分	教 科 目	単位数	科目名	単位	単位
基礎教育科目	外国語、体育以外の科目	6 以上	日本国憲法	2	6 以上
			パソコン演習Ⅰ	2	
			パソコン演習Ⅱ	1	
			心理学	2	
			異文化研究	2	
	外国語	2 以上	英語	1	2 以上
			保育の英語	1	
			フランス語Ⅰ	1	
			フランス語Ⅱ	1	
			スペイン語Ⅰ	1	
			スペイン語Ⅱ	1	
			中国語Ⅰ	1	
			中国語Ⅱ	1	
	体育（講義）	1	スポーツ・健康論	2	2
	体育（実技）	1	スポーツ	1	1

2. 専門教育科目の履修（2013年度・2014年度入学者）

告示別表1

保育士養成所指定基準			本学の授業科目と単位数		必要な 単位数
科目区分	教 科 目	単位	科目名	単位	単位
保育の本質・目的に関する科目	社 会 福 祉	2	社会福祉	2	2
	相 談 援 助	1	相談援助	2	2
	児 童 家 庭 福 祉	2	児童家庭福祉	2	2
	保 育 原 理	2	保育原理	2	2
	社 会 的 養 護	2	社会的養護	2	2
	教 育 原 理	2	教育原理	2	2
	保 育 者 論	2	保育者論	2	2
保育の対象の理解に関する科目	保 育 の 心 理 学Ⅰ	2	発達心理学	2	2
	保 育 の 心 理 学Ⅱ	1	教育心理学	2	2
	子 ども の 保 健Ⅰ	4	子どもの心とからだⅠ	2	2
			子どもの心とからだⅡ	2	2
	子 ども の 保 健Ⅱ	1	子どもの心とからだⅢ	2	2
	子 ども の 食 と 栄 養	2	子どもの食と栄養	2	2
		家 庭 支 援 論	2	家庭支援論	2
保育の内容・方法に関する科目	保 育 課 程 論	2	保育課程論	2	2
	保 育 内 容 総 論	1	保育内容総論	2	2
	保 育 内 容 演 習	5	保育内容指導法「生活と健康」	1	1
			保育内容指導法「生活と人間関係」	1	1
			保育内容指導法「生活と言葉」	1	1
			保育内容指導法「生活と環境」	1	1
			保育内容指導法「生活と表現」	2	2
	乳 児 保 育	2	乳児保育	2	2
	障 害 児 保 育	2	障害児保育	2	2
	社 会 的 養 護 内 容	1	社会的養護内容	2	2
保 育 相 談 支 援	1	保育カウンセリング	2	2	
保育の表現技術	保 育 の 表 現 技 術	4	音楽Ⅰ（ピアノ・楽典）	2	2
			図画工作	2	2
			体育	2	2
			児童文化	2	2
保育実習	保 育 実 習Ⅰ	4	保育実習（保育所）	2	2
			保育実習（児童福祉施設）	2	2
総合演習	保 育 実 習 指 導	1	保育実習Ⅰ（事前・事後指導）	2	2
	保 育 実 践 演 習	2	保育実践演習	2	2

告示別表2（各保育士養成施設において設定する授業科目）

保育士養成所指定基準		大学の授業科目と単位数		必要な単位数
科目区分	単位	科目名	単位	単位
保育の内容・方法に関する科目	15単位以上	保 育 内 容 総 論	2	9単位以上修得のこと
		保 育 内 容 指 導 法「生活と健康」	1	
		保 育 内 容 指 導 法「生活と人間関係」	1	
		保 育 内 容 指 導 法「生活と言葉」	1	
		保 育 内 容 指 導 法「生活と環境」	1	
		保 育 内 容 指 導 法「生活と表現」	2	
		幼 児 教 育 指 導 法	2	
		保 育 現 場 と ポ ル ト ガ ル 語	2	
		海 外 の 保 育 と 英 語	2	
保育の表現技術		国 語	2	
		算 数	2	
		音 楽Ⅱ（弾き歌い）	2	
		音 楽Ⅲ（弾き歌い・声楽）	2	
保育の実習	2	保 育 実 習Ⅱ	2	2単位以上
	1	保 育 実 習Ⅱ（事前事後指導）	1	1単位以上

Ⅲ. 専攻科保育専攻での幼稚園教諭1種免許状の取得

本学専攻科保育専攻で幼稚園教諭1種免許状を取得する場合、次の要件を充足する必要があります。

1. 基礎資格

学士の学位を取得のこと。

2. 幼稚園教諭2種免許状

幼稚園教諭2種免許状を取得のこと。

3. 幼稚園教諭免許状取得要件単位数の1種と2種の差の単位の授業科目履修

教育職員免許法施行規則第10条の6により、又はこれにかかわる所要資格を得ているものは、1種免許状に必要な単位のうち2種免許状取得においてその一部をすでに取得したものとみなされる。

このことにより、幼稚園教諭1種免許状を取得する者は、以下の通り「教科に関する授業科目」・「教科又は教職に関する科目」並びに「教職に関する科目」について、それぞれの差の単位を履修する必要があります。

①教科に関する科目

免許法施行規則に定める最低修得単位	専攻科の授業科目	開講単位	必要な単位
2単位	幼児体育演習	2	2
	音楽演習	2	
	図画工作演習	2	

②教科又は教職に関する科目

免許法施行規則に定める最低修得単位	専攻科の授業科目	開講単位	必要な単位
10単位	障害児保育特論	2	2
	保育講読演習	2	
	食環境論	2	
	保育特別実習	6	8
	保育特別実習指導	2	

③教職に関する科目

免許法施行規則に定める最低修得単位	専攻科の授業科目	開講単位	必要な単位
8単位	教育行政特論	2	2
	保育研究法Ⅰ	2	2
	保育研究法Ⅱ	2	2
	保育内容特演Ⅰ	2	2
	保育内容特演Ⅱ	2	
	教育方法特論	2	

IV－①. 中学校教諭2種免許状外国語（英語）の取得

1. 基礎資格

短期大学士の学位を有すること。

2. 基礎教育科目での履修

免許法施行規則に定める科目及び単位数		本学の授業科目と単位		必要な単位数
科目	単位	科目	単位	単位
日本国憲法	2	日本国憲法	2	2
体育	2	スポーツⅠ	1	2
		スポーツⅡ	1	
		スポーツ・健康論	2	
外国語コミュニケーション	2	フランス語Ⅰ	1	同一外国語を 2単位
		フランス語Ⅱ	1	
		スペイン語Ⅰ	1	
		スペイン語Ⅱ	1	
		中国語Ⅰ	1	
		中国語Ⅱ	1	
情報機器の操作	2	パソコン演習Ⅰ	1	2
		パソコン演習Ⅱ	1	

3. 英語コミュニケーション学科専門教育科目での履修

①教科に関する科目（免許法施行規則に定める各科目について1単位以上10単位）

※最低修得単位を超えて履修した教科に関する科目については、「教科又は教職に関する科目」に充てることができます。

免許法施行規則に定める科目及び単位数		本学の授業科目と単位		必要な単位数
科目		科目	開講単位	
英語学		英語学Ⅰ	2	2
		英語学Ⅱ	2	
		英語音声学Ⅰ	2	2
		英語音声学Ⅱ	2	
英米文学		アメリカ文学	2	2
		イギリス文学	2	2
		外国の文学	2	
英語コミュニケーション		English In ActionⅠ	2	2
		English In ActionⅡ	2	2
		Intensive EnglishⅠ	1	1
		Intensive EnglishⅡ	1	1
		Intensive EnglishⅢ	1	1
		Intensive EnglishⅣ	1	1
		Intensive EnglishⅤ	1	1
		Intensive EnglishⅥ	1	1
異文化理解		異文化研究Ⅰ	2	2
		地域研究Ⅰ	2	
		地域研究Ⅱ	2	
		地域研究Ⅲ	2	
		地域研究Ⅳ	2	

②教科又は教職に関する科目（4単位以上）

教科又は教職に関する科目に最低修得単位を越えて履修した教科に関する科目を充てることができます。

③教職に関する科目

免許法施行規則に定める科目区分等		本学の授業科目と単位		必要な 単位数
科 目		科 目	単位	単位
教職の意義等に関する科目	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。） ・進路選択に資する各種の機会の提供等	教職論	2	2
教育の基礎理論に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理	2	6
	・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）	教育心理学	2	
	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	教育関係法規	2	
教育課程及び指導法に関する科目	・教育課程の意義及び編成の方法 ・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用含む。） ・各教科の指導法	英語科教育法	2	6
	・道徳の指導法	道徳教育の研究	2	
	・特別活動の指導法	特別活動の研究	2	
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	・生徒指導の理論及び方法 ・進路指導の理論及び方法	生徒指導論	2	4
	・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	臨床心理学（B）	2	
教 育 実 習		教育実習（事前事後指導）	1	5
		教育実習	4	
教職実践演習		教職実践演習（中学校）	2	2

なお、免許状取得の要件を充たすことなく卒業した者については、科目等履修生として不足単位を充足し、教員免許状を取得することができます。

全国大学実務教育協会「秘書士」資格取得（英語コミュニケーション学科）

英語コミュニケーション学科課程履修者で、秘書士の資格を得ようとする者は、下記の所定単位を修得しなければなりません。

（２０１３年度入学者）

必修科目

実務教育協会指定科目	単位数	対応する科目名	単位数
秘 書 学 概 論	2	秘 書 概 論	2
秘 書 実 務	2	秘 書 実 務	2
日 本 語 表 現	2	日 本 語 表 現 I	2
O A 機 器 演 習	1	パソコン演習 I	1

選択科目 選択必修（協会指定科目 3 科目 6 単位以上修得のこと）

実務教育協会指定科目	対 応 す る 科 目 名
事 務 管 理	事務管理
日 本 語 表 現 演 習	日本語表現Ⅱ
実 用 外 国 語	English In Action I English In Action II Intensive English I Intensive English II Intensive English III Intensive English IV Intensive English V Intensive English VI Advanced English I Advanced English II Advanced English III Advanced English IV

普通選択

現 代 社 会 論	国際社会と女性
国 際 理 解	国際関係論 I 国際関係論 II 異文化研究 I

注）上記選択科目（選択必修・普通選択合わせて）から 16 単位以上修得のこと。

(2014年度入学者)

必修科目

実務教育協会指定科目	単位数	対応する科目名	単位数
秘書総論	2	秘書概論	2
秘書実務	2	秘書実務	2

選択科目 (Ⅰ群2単位以上、Ⅱ群2単位以上 計12単位以上修得のこと)

実務教育協会指定科目	対応する科目名	単位数
Ⅰ群 秘書知識・スキル分野	事務管理	2
	パソコン演習Ⅰ	1
	パソコン演習Ⅱ	1
	English In ActionⅠ	2
	English In ActionⅡ	2
Ⅱ群 キャリア・教養分野	日本語表現Ⅰ	2
	日本語表現Ⅱ	2
	異文化研究Ⅰ	2
	国際関係論Ⅰ	2
	国際関係論Ⅱ	2
	ライフデザイン	1

全国大学実務教育協会資格取得（現代教養学科）

2014、2013年度入学者適用

現代教養学科課程履修者で、「秘書士」、「ビジネス実務士」、「情報処理士」の資格を得ようとする者は、下記の資格認定に係わる科目を履修し、所定の単位を修得しなければなりません。

各資格認定に係わる科目。

●秘書士

必修科目（2科目4単位以上）

実務教育協会指定科目	単位数	対応する科目名	単位数
秘書総論	2	秘書概論	2
秘書実務	2	秘書実務	2

選択科目

I・II群からそれぞれ2単位以上、計12単位以上取得のこと。

注) 必須科目及び選択科目合わせて16単位以上を履修し単位修得のこと。

協会指定科目	対応する科目名	単位数
I群秘書知識・スキル分野	データベース演習	1
	Excel演習	1
	オフィススタディ	2
	事務管理	2
II群キャリア・教養分野	日本語表現A	2
	日本語表現B	2
	社会心理学	2
	生活経営	2
	女性と労働	2
	コミュニケーションの心理	2
	ボランティア論	2

●ビジネス実務士

必修科目（2科目4単位以上）

実務教育協会指定科目	単位数	対応する科目名	単位数
ビジネス実務総論	2	オフィススタディ	2
ビジネス実務	2	事務管理	2

選択科目（Ⅰ・Ⅱ群からそれぞれ2単位以上、計12単位以上取得のこと。）

実務教育協会指定科目	対応する科目名	単位数
Ⅰ群 ビジネス実務知識・スキル分野	秘書実務	2
	データベース演習	1
	Excel演習	1
	生活経営	2
	秘書概論	2
Ⅱ群 キャリア・教養分野	日本語表現A	2
	日本語表現B	2
	社会心理学	2
	ボランティア論	2
	コミュニケーションの心理	2

●情報処理士

必修科目（2科目 4単位以上）

実務教育協会指定科目	単位数	対応する科目名	単位数
情報処理総論	2	コンピュータ基礎演習	1
		コンピュータ・ネットワーク	2
情報処理実務	2	Excel演習	1
		プレゼンテーション演習	1

選択科目（Ⅰ・Ⅱ群からそれぞれ2単位以上、計12単位以上取得のこと。）

実務教育協会指定科目	対応する科目名	単位数
Ⅰ群情報処理知識・スキル分野	データベース演習	1
	ウェブデザイン	1
	ウェブ・コミュニケーション	2
	デジタル・デザイン	1
	Excelプログラミング	1
	応用Excelプログラミング	1
Ⅱ群キャリア・教養分野	日本語表現A	2
	日本語表現B	2
	社会心理学	2
	コミュニケーションの心理	2
	オフィススタディ	2
	ボランティア論	2

日本障害者スポーツ協会公認障害者スポーツ指導者資格取得（現代教養学科）

2013年度入学者適用

日本障害者スポーツ協会公認障害者スポーツ指導者「初級スポーツ指導員」の資格を得ようとする者は、下記の資格認定に係わる科目を履修し、所定の単位を修得しなければなりません。

1. 基礎資格

本学卒業資格に同じ

2. 初級スポーツ指導員認定に係わる科目

必修科目

協 会 指 定 科 目	対応する科目名	単位数
障 害 者 福 祉 施 策 と 障 害 者 ス ポ ー ツ	福祉スポーツ	2
ボ ラ ン テ ィ ア 論	ボランティア論	2
障 害 者 ス ポ ー ツ の 意 義 と 理 念	福祉スポーツ	2
安 全 管 理		
障 害 の 理 解 と ス ポ ー ツ		
日本障害者スポーツ協会 資 格 認 定 制 度		
全 国 障 害 者 ス ポ ー ツ 大 会 の 概 要		
障害に応じたスポーツの工夫・実施（実技）		
障 害 者 と の 交 流 （ 実 技 ）	人間と健康	2

日本障害者スポーツ協会公認障害者スポーツ指導者資格取得（現代教養学科）

2014年度入学者適用

日本障害者スポーツ協会公認障害者スポーツ指導者「初級スポーツ指導員」の資格を得ようとする者は、下記の資格認定に係わる科目を履修し、所定の単位を修得しなければなりません。

1. 基礎資格

本学卒業資格に同じ

2. 初級スポーツ指導員認定に係わる科目

必修科目

協 会 指 定 科 目	対応する科目名	単位数
障 害 者 福 祉 施 策 と 障 害 者 ス ポ ー ツ	福祉スポーツ	2
ボ ラ ン テ ィ ア 論	ボランティア論	2
障 害 者 ス ポ ー ツ の 意 義 と 理 念	福祉スポーツ	2
安 全 管 理		
障 害 の 理 解 と ス ポ ー ツ		
日本障害者スポーツ協会 資 格 認 定 制 度		
全 国 障 害 者 ス ポ ー ツ 大 会 の 概 要		
障害に応じたスポーツの工夫・実施（実技）		
障 害 者 と の 交 流 （ 実 技 ）	福祉スポーツ 人間と健康	2 2